

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	札幌市立宮の森小学校 第3学年 107名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・本校では、3年生の総合的な学習の時間のカリキュラムの中に、地域の公共施設を知り、地域の素晴らしさを感じる学習や、共に学ぶ他学年と交流する学習が位置付けられている。その一環として、オリンピックミュージアムでの学習を加え、スポーツの魅力を感じることや、オリンピックに対する関心の醸成、そして札幌がオリンピックを誘致する計画を立てている点から札幌に対する誇りや愛情を育むことをねらいとしたい。
5 取組内容	○指導計画【20時間扱い】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一次：オリンピック・パラリンピック博士になろう（10時間）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックについて調べる活動（札幌オリンピックミュージアムの見学、インターネットや本などでの調べ学習） ・調べたことをまとめる活動（ポスター、新聞、ガイドブック等） ・まとめたことを発表する活動国語「しりょうから分かる、小学生のこと」の学習を活用） <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">二次：私たちの宮小オリンピックを開こう（5時間）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・大会の準備をする活動 ・大会を開催する活動 ・大会を振り返る活動 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">三次：オリンピックに招待しよう（5時間）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生を招待するオリンピックの計画を立てる活動 ・2年生を招待してオリンピックを開催する活動 ・単元を振り返る活動

○取組の様子



6 主な成果

- 地域にほど近いオリンピックミュージアムの見学をすることで、地域の公共施設についてより関心をもつことができた。
- 冬季オリンピックという大きな催しが、過去に札幌でも行われたことや、冬のオリンピック競技に参加した選手の多くが北海道で活動していることなどを知り、自分たちの住む札幌への誇りや愛情を育むことにつながった。
- 「宮小オリンピックを開こう」では、会の計画・運営を経験することで相手意識をもって競技を考えたり、相手に分かりやすく伝える方法を考えたりすることができた。共に学んでいく仲間を大事にする気持ちをより高めた。

7 実践において工夫した点

- 単元の最初に学習の見通しをもつ時間を設定し、児童が目的意識や意欲をもって学習するようにした。
- 宮の森ジャンプ競技場や宮の森の地名の由来や、札幌に関係の深い選手などについて、児童に積極的に情報を提供した。

8 主な課題等

オリンピックミュージアムの見学日が、スキージャンプのワールドカップの練習日と重なり、リフトに乗ることができなかった。リフトに乗ることができない日を事前に分かるようにしていただけると、それを避けて希望日を出すことができる。

9 今後の取組について

- 再来年度は東京オリンピックも開催されるため、今後も3年生がオリンピックについての学習を続けていけるとよい。
- 相手意識を大事にした活動を、来年度以降の地域に関わる学習や、異学年との交流につなげていけるとよい。